



●今月の巻頭文

姫宮神社の由来



桜島の神様が霧島の神様に借金を申し入れた。

桜島の神様には担保になる財産がないから貸せないと断れた。

桜島の神様は断れるたびに怒って爆発を繰り返し、

ついには大隅半島にくっついて大金持ちになりました。

しかし、爆発のたびに迷惑をかけた城山がある鹿児島市内には顔向けができないと、後ろ向きになりました。

そのため、袴の後ろ(腰)が鹿児島市内を向くようになり、今では、鹿児島市内から桜島の袴腰が見えるようになりました。

前置きはさておき、開聞岳(かいもんだけ)の麓にある枚聞神社(ひらききじんじゃ)の神様には、昔、何人かの姫宮がおいでになりました。

その中に、いつも白い足袋を履いて、けっして脱ごうとなさならない姫宮がいました。

ある暑い日、おばあさまが無理やりに姫宮神社足袋を脱がせると、驚いたことに姫宮の足の指は牛や馬のように二つに分かれていました。

このような者を枚聞神社に置いておくわけにはいかないと、一生不自由なく暮らせるだけの砂金を入れた袋をつけて船に乗せて、沖に流しました。

船は潮流に乗ってやがて桜島の東海岸に漂着しました。それは二月六日の昼であったそうです。

南国の鹿児島でも寒い頃でしたから、姫宮が「寒い寒い」と言うと地面からお湯が沸き出しました。その後、その地は湯之(ゆの)と呼ばれるようになりました。

ところが、その地の人々にはやさしさがなく、姫宮の船を沖に押し出し追い払いました。

それから随分長く漂流し、九月十六日深夜、野尻に漂着しました。

1 姫宮神社の由来

噴火の溶岩が流れ出てできた地域であったため、そのころの野尻には水がありませんでした。

ところが、姫宮が「水を飲みたい、髪も洗いたい」と言いますと、たちまち水が湧き出ました。それ以来、野尻は水が豊かな地域になりました。

姫宮は野尻の人々から親切にもてなされ、ここに落ち着いて暮らすことにしました。

九月十六日深夜、浜下りの神事を行うのは、その時刻に姫宮が漂着したからと伝えられています。

そのような評判を聞きつけて、姫宮の両親は開聞からやってきて、沖の小島で久しぶりの対面をしました。姫宮の足がそのようでしたから、野尻の人々は、昔から牛や豚の肉を食べることはできないと伝えられてきました。

どうしても食べたいときには、「許っくやんせ(ゆるしてください)」と言いながら食べたそうです。

それでも吹き出物ができたりしたそうです。



姫宮は手足が不自由な人々を治してあげましたので、方々から困っている人々がやってきました。
以前ほどではありませんが、今でも健康を願う人々が姫宮神社を訪れています。

●9月30日

大石さん



お忙しい中、今月もありがとうございました
マスコミの人からお礼の電話・メールが絶対にこないと面白いと思いました
一本の電話・メールが次に繋がることを知らない上司の下にいますのでし
喧々囂々、侃々諤々、談論風発たるべし。

秀吉の中国征服は凄い構想ですが、当時でも現実離れしてしてのではないのでしょうか？
島津は中国と結んで秀吉を討とうとしたという話もあります。

天皇家は北朝といっても、それがどのようなものなのか
論ずることは憚れる複雑、時として怪奇なテーマです。

徳川光圀の圀は則天武后が作った則天文字ですよ
阿倍仲麻呂のころ日本にはまともな歴史書がないとして
中国からいじめられました。

光圀の頃でも、キチンとした歴史書作成の必要性を感じていたのでしょうか。

こんばんは、ここらあたりまでとさせていただきます。

大石さん ありがとう。

=====

西山 和宏

=====

●10月1日



大石さん
いつも 八期会オンライン通信 面倒な編集 ご苦勞様です。
見せて頂きました。世の中は 9月も いろいろな 事がありました。

独断と偏見で取捨選択しながら ニュースなど見るようにしております。

まずは 御礼まで 木場 祥雄

●10月2日

西山さん

テレ朝の玉川徹氏は「電通」云々を言ったばかりに物議を醸していましたが、それ以外では大体当たっていたとい
うことでしょう。



私も今日この記事を見て成る程と思っていました。
私は葬儀には関心がなかったので、生中継は聞いていませんでしたが、あとでネット上で大騒ぎになっ
たので、いろいろ見てみました。

すると、これまでの菅前総理にしては失礼ながら出来過ぎだと思っていました。

これを書いた森功氏はこれまでも正しいことを書いてきているので、ここに書いてあることも間違いはないでしょう。

今度は菅さんがどういう反論をするのか、見ものです。

隈元達雄



●さっそく送っていただきありがとうございました。この年になり胃がんが見つかり、暫く入院しておりました。やっとリハビリの最中です。ぼちぼち頑張ります。送信グループの中に私のメルアドが2つあります。恐れ入りますが、JA3CKN で始まるメルアドは現在使っておりません。削除して下さい。

高槻市 古里 洋幸

●大石様、いつもの「八期会オンライン」の9月号、編集いただき、また、小生の「拙文」を「巻頭言」に採用いただき、感涙モノです。 ありがとうございます。



毎年、「十五夜」は廻ってきますが、故郷の田舎の素朴な「伝統行事」も過疎化・少子化などで、廃れていっている現状に鑑み、一言、書いた次第です。

先月は、安倍元総理の刺殺、それについての「国葬」など、大きな政治的案件がおおく発生して、国論を二分するほどの「騒ぎ」がある中で、季節は間違い

なく、初秋へと変わっていくことで、「彼岸花・中秋の名月」など、秋の到来を告げる、季節感あふれる田舎に住んでいる輩が、昔の「面影に浸る」ことも、田舎生活の「楽しみ」でもあります。 ワレワレの子供時代から続いていた地元の「棒踊り」や、なかなかやらなくなった勇壮な「太鼓踊り」などの「伝統行事」もなくなって、これも過疎化・少子化がいかに、この田舎で進行しているかを物語っています。ただただ、季節の移ろいを身近に感じられる田舎であり、人情の厚い、ありがたい「ふるさと」ではありません。

◎みなみさんの快挙を共有できるのではないかと思います。

下の、自分のブログの URL です。 よろしく、願います。 本田 哲郎

iukoooo8.blog44.fc2.com/ 【中期高齢者である田舎人のタワゴト】

●10月3日

大石さん



勝 みなみさん 日本女子オープン 連続優勝 おめでとうございます。

3人しか おられないようです。 来年は 本場 アメリカで頑張るとか

一層の飛躍を 期待します。

昨夜 大石さんへ LINEとメールで 優勝 連絡したけど 応答なかったの で 心配していました。

みなみちゃん！！ 日本オープン 3打差からの逆転、連覇素晴らしい。連覇は樋口久子の 4年連続、2年連続と2016、2017年を制した畑岡選手に続き、史上3人目のこと。

5年ぶりのことで日本女子オープン史上名前を刻みましたね。大したもんです。龍作じいさんもウハウハでしょう。鹿児島県の誇りですね。

佐倉市 ふるいち



●大石さん



お久しぶりです。吉永英未です！

今回は、録音の重要性について教えてくださいまして有難うございました。

これから、私も出来る限り生活を記録していけましたらと存じます。

いつも支えてくださり、本当に有難うございます。

今回、イギリスでの生活を文章にしましたので、お時間ございます際にご一読いただけますと幸いです。

イギリスでは社会学の博士課程を目指していますが、申請前の今は生活していくことに必死です。

そして博士課程にとらわれず、ホームレス支援や、政府、自治体レベルでの自殺予防の取り組み等を NGO (Big Issue 等) で経験を積んだり、教会での生活を通して経験し、学んでいきたいと思っています。

渡英して一ヶ月が経ちそうな今日、生きるために一生懸命奮闘しています。生きるというこれまで当たり前で暮らしていたことが、この新しい土地ではどんなに難しいことかと改めて感じました。

でも、どんな時も、必ず助けてくださる方がいらっしゃいました。その助けのおかげで、私は今もこの地で「生きる」ことが出来ています。

今回書いたものは第三弾です。前置きとして第一弾、第二弾もご覧いただけましたら幸いです。

日本の気候はどのような感じか想像ができませんが、こちらはもうすっかり秋です。

寒くはありませんが、もちろん、長袖長ズボンになりました。でも、太陽は相変わらず暖かく照らしてくれます。

最後になりましたが、大石さん、どうぞお身体に気をつけてお過ごしください。

吉永英未 ——

皆様

暑い日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。



東京では短い梅雨が過ぎ、準備期間も与えずに猛暑となりました。でも、朝は少しだけ涼しいので、貴重な朝の時間を活用して運動や論文を書いています。

東京に来て約半年が経過しました。すっかり東京人らしくなり(?)、人の波に酔わなくなりました。(鹿児島では天文館で人に酔ってしまうほど) 上海でも少し、鍛えられたのかもしれませんが。

友人に、えみはタダでは転ばないよね、と言われましたが、確かに、転んでも立ち上がりたいのは人は皆思うところかもしれません。私は東京で大きく転びました。プライドも自信も、全て捨ててゼロになることは、簡単なことではありませんでした。でも、新しい職場で働くということは、ある意味、これまで自分が築いてきたこと、学んできたこと、信じてきた Theory さえも、胸の奥に閉まっておく必要があることを学びました。これまでの自分のバックグラウンドを下すことは、決して容易なことではありませんでした。でも、それを降ろしてからこそ学べることは確かにありました。凝り固まっていた私の頭は、(今もまだまだ固いですが) 少しだけ開いたように思います。

物事は、一面ではないこと、人もそして一面ではないこと。陰と陽は交わり、一つであることを、私はこの半年で学ぶことができました。そして、過去の自分を自分自身は忘れることなく、でも自分の活かされる場所ではそれを全面に出さず、まずは周りに馴染み学んでいくことが一番大切だということを私は自らの失敗から学びました。

どんな日々も、望み生きていく存在があれば、怖いものは何もないと思います。どんな日々も、どんな時も、感謝する心を忘れなければきっと、毎日はきっと幸せなものなのだと確信しています。

私の人生は、いやこの世に生きる人の人生は休むことがないのかと思います。でも私は、これからは焦らずゆっくり生きていきたいです。これまでは、いわゆる「世間体」や盲目に目標を決めて生きていましたが、これからは、自分が本当にやりたいこと、解決したい問題一つを追求して生きていきたいと思っています。

どんな人生でも、輝く瞬間はあります。暗い闇に包まれるときも。どんな時でも、生きていること、生かされていることに感謝して生きたいと思えます。

最後になりましたが、学部在学中から、私のことをずっと見守ってくださり、本当にありがとうございます。私は、あの時語っていた「世界平和」の夢を今もずっと諦めていません。そしてこれからもその夢を追い続けて生きていきます。しっかりと前を見つめながら。

吉永英未

●素晴らしい写真ですね



本当におめでとうございます。

市来龍作も好々爺になりましたね！

うっかり下の方を見落とすところでした

釣り野伏、薩摩は剽悍なだけでなく

ビンタもよかった。

信長の長篠の戦いの鉄砲3段打ちも義弘が先に用いた先方であった。

みなみさん 本当におめでとうございます！

=====
西山 和宏
=====

●大石先生

いかがお過ごしでしょうか。



私は、ロンドンから車で1時間の Bedford というところでのホームステイを終え、現在はロンドンで19日間、次のホームステイ先の家に移るまでの時間を楽しんでいます。

自由というものは、本当にそれだけで嬉しいものです。一ヶ月間は、このような長い自由な時間は持てませんでしたので、今、お金は支払うものの、小さな部屋で思うことをできるのは至福の喜び、常に嬉しいです。

さて、第四段となる今回は、Bedford での思い出をまとめました。ぜひご覧ください。

https://docs.google.com/document/d/1RqyAvdemgwDAWmhWU_aEThh4Q5bJrYZa/edit?usp=sharing&ouid=102775212654621184216&rtpof=true&sd=true

大石先生もお身体に気をつけて、素敵な毎日をお過ごしくださいませ。

10月2日、Ealing Broadway の貸部屋にて 吉永英未

●英未さんへ



7時間誤差がありますか？お昼ですか？こんにちは！

こちらは台風14号 静かに？(思ったよりかは)過ぎ去り 秋が来てしまいました。

英未さんにとっては、世界は狭いのでは？

それだけとっても目が外へ向いた人にとっては羨ましいことですよ。
生まれて死ぬまで一所懸命に生きてる人には分からないでしょうけど。
コロナのせいにするわけではないけど僕も一所から抜きたい抜きたいと思いながら時を重ねていく人が殆どです。

まだ、英未さんのコメント読んでいません。

すること、考えることが多すぎて(自分に対してです)一日の速さに驚かされています。
他人から見たら「退屈ですることがないでしょう」と羨ましがられる状態なんですがね。
むかしに較べて時の経つのが倍速?になったのでは??実感です。

…とまあ仲間に較べたら元気で生きています。

もししたら英未さんのコメント集読みます。そして、ゆっくり返事しますね!

青い空が あるだけで

やさしい風が ふうだけで

とってもとっても

しあわせ しあわせ。

しあわせは あなたの心がき め る。

おいしいけいじ

●イチローがん入院前の苦悶!

満山一朗



○入院して放射線治療を開始するという決心はしたものの、その具体的な日程を決める日が近づくにしたがって言い知れぬ不安が頭をもたげてくる。

そんな時に、こっちが聞きもしないのに放射線治療経験者が“副作用が酷かった”などという話を持ってきたりする為に又またビビリ心が出て来ている。

その為に事前の医師との面談の中で何かホームランを打つことに支障のあることが出てきたら、今回も回避しようかなどと思うようになって、固いはずだった入院の決心が揺らぎ始めていた。

先の日曜日、入院するまでに残された元気寿命もあと半月ほどを残すだけとなっているので野暮用を片付けると激励に来てくれる人たちに会えるかも知れないと思ってメテオ・ドームに出かけた。

何度か若者達と打ち合いをしていたりしているうちに、隣の打席で打っているちょっと年配の青年が目についた。

右の腕力が強い為に打球が左へばかり行っていた。

それで、打席から出て来た時に目が合ったので、1000gの重たいバットがあるので、試しにソレで打ってみないかと勧めてみた。

素直にすぐ取りに行って打つと、ドンピシャで腕力にフィットしてセンター方向へいい打球が何本も飛んだ。

今後はその1000gバットで打って行くことを勧めているうちに、私の入院の話になり、“ホームランを打つのに支障があるようだと放射線治療を延期するつもりだ”と言った。

すると、“私は病院の医師をしています、骨に転移すると骨盤や膝付近の骨がもろくなって崩れることもあり、厄介なことになりますから今のうちに治療はされておかれた方がいいと思いますよ”と言われた。

“骨が崩れることがある”とは聞き捨てならん一大事だ。

即刻この医師の忠告を守って予定通りに放射線療法を受ける、新たな決心をしたのだった。

それにしても、固い決心に迷いが出たところへ医師の打者が隣に入ったというのは、これは偶然にしては出来過ぎている。

もはや、天の神様の極めて重たいご指示に違いないと思った。

(メテオドームより投稿)



●あとしばらくしたら、「三萩野バッティングセンター」のホームページの中に私のブログを開設して下さることになった。

その際のページの表紙を見せて下さったのだったが、それを私も欲しいと思った。

なぜなら、この現在のブログの私の写真は、完全なピンボケでちょっとカッコが悪すぎるので、この三萩野バッティングセンターと同じ写真と交代させたいと思ったからだ。

パソコンからパソコンへ移す方法が判らないので、いつものように画面の写真を写して、これを小さく加工して入れることにした。

そしてもう一つ残念なのが、折角ここまでこぎつけたのだが、この写真と現在の写真を入れ替えることが出来ないのだ。トホホホホホ…、だ。

今日のローテ日のホームランの結果は、第一ゲームは小学生球児父子からのリクエストで 3 本。

若者との並び打ちで 3 本だった。

トータルで 33 本になった。

私がガンに罹っていることを知っている青年が、この本数に大きな関心を持っていて、“王さんの 868 本を目標に頑張ってください”と言っている。

“もう、いつ死ぬか判らんのにそんな途方もない本数を打てる道理が無いじゃないか、死んで生まれ替わったとしても無理だ”と言うと、“ですから、何度も不可能を可能にしてこられた鹿児島のにしか出来ない凄い事です。ぜひお願いします”と言った。

しかし、現実的にはいきなり入院させられた“椎間板ヘルニア”が神経痛となって暴れているし、加えて前立腺ガンと肺ガンの二つと、慢性の下痢が牙を剥いているのだ。

明日にでも打てなくなるかも知れないのだ。

朝、目が覚める度に、“お、まだ生きていたのか、今日のホームランが最後かもしれんな”と思う日々が続いている。

●10月6日



追悼 京セラ 稲盛和夫さん

京セラ 稲盛和夫さんの記事が満載です

南日本新聞 「追悼 京セラ 稲盛和夫さん」

[女子駅伝優勝祝いで稲盛和夫さんお気に入りの店へ。でも会長車は定員オーバー。「いいから乗りなさい」。そう言った稲盛さんが運転手に怒られたのは懐かしい思い出 | 追悼 京セラ・稲盛和夫さん | 南日本新聞 | 373news.com](#)

合掌

=====西山 和宏=====

●西山さん



稲盛和夫さんの追悼文 7件読みました。全部で 31件 明日以降 ゆっくり 読むことにします。

いろいろな 方々との出会いを 大切にされて おられたようです。

メールありがとうございます。

木場 祥雄

●10月17日

アマチュアのハワイアン・フェスティバル鹿児島

<https://youtu.be/0vpiFNhNY18>



鹿児島市の『サンエール鹿児島』に於いて第5回かごしま『ハワイアン・フェスティバル』が開催されました。

友人の親戚の方が出演されるとのことで善之助クンとふたりで観に行きました。

学生時代はハワイアンブームでしたので懐かしくついスマホで撮って友人たちに送りましたが、消去するのも惜しくて繋いでユーチューブ動画にしました。

大石ケイジ

(以下、facebookへ)

●友人の親戚が出る(出演する)と言うので、その友人とふたりで出かけました。



その昔、経済大学(いまの国際大学)にユーカリバンドでギターを弾いてた先輩がいて僕の家の下宿していた細川さん(スチールギター・鹿児島大学医学部一東京出)らと、ハワイアンバンドを作って、天文館のシャトーやさぼてんや西駅にあった第一食堂などで自分も一時、メンバーとして唄っていたことを懐かしく思い出しました。

●10月9日

『中国でいちばん美しい村』といわれる江西省の『婺源理坑』を永留さんと訪れました。

https://youtu.be/i27_CfiXbMk



理坑を訪ねる前、自分のイメージとしては、長沙市郊外でロケがあったという映画『山の郵便配達』(チャン・イーモウ監督)を想像していました。

実際は、まったく違いましたが、一晩泊まってよかったと思いました。夕方から日没までのゆったりした時間(とき)の流れが、今もなお、理坑での1日を思い起こさせてくれます。

ハプニング的に永留くんがとった突然の行為、まったく中国語の話せない彼が、教室に行って先生と交渉して、子供たちに日本の歌を、教えて、子供たちと写真を撮ろうと教室を出て来たところで僕たちとのハプニング合唱が始まったのでした。

『うたごえに国境はない』そんな実感はこの後、長沙市の『日本語学校』でも実現しました。彼がいつまでも音楽(コーラス指導)を辞められない理由が分かった旅でもありました。 大石ケイジ



● 大石くん

中国で一番美しい村「理坑」という普通の観光客はめったに訪れない村の紹介ありがとう。



壊れかけた古い建物や屋根瓦もある村に歴史と情緒を感じました。

川を挟んでの新旧の建物の対照も面白いですね。

人々の暮らしものんびりして、ゆっくり暮らしているようですね。
あの民宿の鯉料理を食べるのには最初は勇気が要ったことでしょう。
永留先生のここでの歌唱指導も動画で見たかった。

●安部龍太郎著の「姫神」を読んだ。 クマタツ



この本は目が悪くなる前に読んでいたので、今となつては残念ながら感想的なものが多くは書けなくなつてしまったので、主にその背景について書くことにし宗像大社は日本書紀に由緒が記された日本最古の神社の一つであり、古くから海上・交通安全の神として信仰を集めている。沖ノ島は島全体が御神体で女人禁制、男性も上陸前に禊を行うのだが、その様子は NHK テレビの特集で見たことがある。

沖ノ島の神は田心姫神(筑前大島の中津宮は湍津姫神、総社の辺津宮は市杵島姫神)が祀られており、女性が上陸すると嫉妬され、たたりがあるとされているが定かではない。

沖ノ島では昭和29年以来十数年にわたり発掘が行われ古代祭祀遺構や神宝など8万点が出土した。そのようなことから「海の正倉院」ち呼ばれており、有史以前の古代人から海人族の信仰の対象となっていたのだろう。(この項は wikipedia を参考にした)

ところで、このところ古代史にすっかりハマってしまった私は、本を読む時は天皇家の系図を片側に置いている。そして、主要なことはその都度書き込むようにしているが、スペースが少ないため、それでも少し書き込むとすぐ満杯になってしまうので、いい方法はないかと思案中である。ただそれは、島津家の歴史を調べるときも系図を片側置いてやってきて、まあまあうまくいったので同じ手法をとったのだが。その上、小説によっては天皇家以外も登場人物は多岐にわたり、読み進むうちに人物が交錯して私自身もまた前に戻ったりして読み返したりする。これは物忘れ、あるいは認知症など歳相応によるものと諦めることにする。ここまで書いてきて、はたと思ったの小説によっては独立した系図をつくるのがいいのかなと思う。そして必要に応じてそれらを見て全体像をつかむようにしよう。

さて本題の「姫神」である。著者は直木賞作家の安部龍太郎。読み始めてすぐに興味を抱いたのは、5行目にいきなり「宗像君疾風」(むなかたのきみはやて)は神湊(こうのみな)に戻った… ということが書いてあったからだ。宗像も(宗像大社も)神湊もその昔、何回も行った思い出の場所だった。

というのも1962年(昭和37年)~昭和49年(1974)の北九州在住中に家族で、あるいは訪ねてきた親戚などと一緒に宗像大社を訪ねまだ素朴な漁村の風情が残る神湊で海の景色を眺め、美味しい魚料理を食べた思い出が一気に蘇ってきた。

しかし、神湊に古代のロマンあふれる物語があったのか知るすべもなかったからだ。余談だが、その後鹿児島に帰ってきてから北九州に行ったとき、友人夫妻と神湊を訪ねたが、立派なホテルや料理屋が立ち並び、すっかり様相が変わっていた。料理は魚という魚が全部出てきた昔のほうがずっと良かったような気がした。



おっと、又話が横道にそれてしまった。もとに戻そう。

これまで書いてきた「迷宮の月」「平城京」が遣唐使の時代であったが、「姫神」はその前の時代・中国の隋の時代の物語であり、遣隋使にまつわる話である。

「姫神」は玄界灘に浮かぶ孤島・世界遺産「沖ノ島」が重要な舞台である。

厩戸皇子(聖徳太子)が小野妹子を遣隋使として派遣するに当たり必要なものは、船と船乗りである。そこで船頭として登場するのが、宗像一族の若頭領・疾風である。

それに絡む女性が、宗像一族の女性と新羅の男性の間に生まれた巫女・伽耶(姫神)という悲劇のヒロインである。

当時、朝鮮では高句麗、新羅、百済の三国が対立しそこに大和朝廷が絡む複雑な政治情勢であり、それを若い二人の目を通してダイナミックに描いている。――

●大石様 皆様



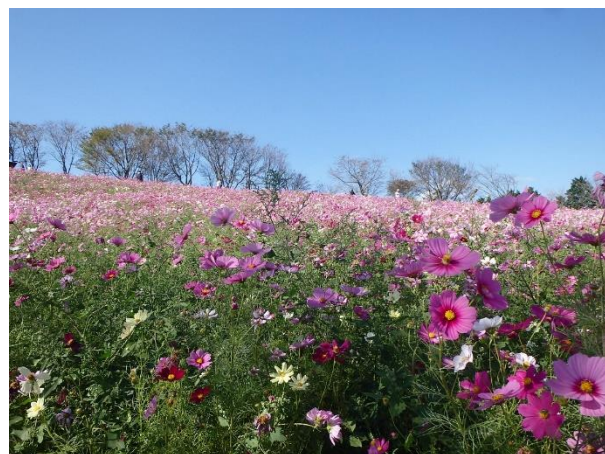
旅模様 配信感謝です。世知辛い今の世 ころろ和みます。

諫早 白木峰高原から 有明海・雲仙 いまコス

モが見ごろ

お日様が 顔を出す前から 見に行く人あり です。

長崎 諫早 森永



●森永さん

コスモス真っ盛りで綺麗ですね。

最近車もないのでコスモスを見に行くこともありませんが、コスモスの大群に癒やされました。

向こうに見えるのは普賢岳ですかね。

西九州新幹線の開通で、これからは長崎県の新時代の到来のようですね。

●10月21日 久しぶりの切抜き。 大石

松尾千歳さんは闘ガン中で大変なのに頑張っておられます。シリーズなのでかえって励みになるといいです。



旗本の脇差し取り違え(むかし宴会帰りに靴で自分もありましたが)事件だらだらと面白かった。

死亡告知は、この俳優は大学時代にまあ、人気がありました。なぜ気になったかという、女子学友達に「大石くん！似てるよね」と言われて意識した覚えがあるからです。キラキラした学窓が浮かんで来ました。

まだ書きたい思い出がいっぱい浮かんで来ました。

●父祖伝来の刀、脇差の取り違い、差し違いは大変なことでしょう



親父の良い雨傘を拝借して行ったら、傘立てからなくなっていた
松尾千歳さんには

「秀吉を討て、薩摩・明・家康の密約」

という面白い著作があります。

そのプロローグには藤原惺窩が中国へ渡るべく薩摩を訪れ見聞・体験した日記「南航日記残簡潔」からの引用には

江戸初期、薩摩が外国への窓口、異国との交流が盛んであった

用紙が書かれている。

=====

西山 和宏

=====

●10月21日



松尾千歳さんの「秀吉を討て」も買っていますが、目の調子のこともあり、未だにプロローグしか読んでいません。

傘の持ち帰り間違いはよく経験しました。

子供の頃のことは忘れましたが、間違っって持ち帰ったことも、持ち帰られたこともあります。

それだけでなく、雨が止んでその場に置き忘れたり、乗り物に置き忘れたりもあったので、最近はいい傘は持たないようにしていま

す。

隈元達雄

○28日「無冠の帝王」 華麗なボクシングスタイル（サウスポー？）矢尾板貞雄が

去る9月13日に亡くなられた。その追想録が今日の夕刊にあった。



矢尾板の試合のテレビ放送がある日（夜）は、いつも夕食をとっている蕎麦屋に行き放映開始を待った。

その時間になると、蕎麦屋は戸を閉め、店の明かりを消して、常連が声を合わせて矢尾板を応援した。

矢尾板はボクシングのラウンドの合間に選手がビール瓶に入っている物を飲んでいるのを見て、ビールだと思った。

ボクサーになれば、ビールを飲めると思ったのがボクサーになった動機だと語っていた。

本当に良いボクサーでした。

ご冥福を祈ります

合掌

=====

西山 和宏

古文書のなかの横顔 10
歴史学者 尾崎 秀和

差し間違えた脇差の行方

「南航日記残簡潔」の「南航日記残簡潔」の引用には江戸初期、薩摩が外国への窓口、異国との交流が盛んであった用紙が書かれている。

回状に添え、穩便に解決

松尾千歳さんの「秀吉を討て」も買っていますが、目の調子のこともあり、未だにプロローグしか読んでいません。傘の持ち帰り間違いはよく経験しました。

子供頃のことは忘れましたが、間違っって持ち帰ったことも、持ち帰られたこともあります。それだけでなく、雨が止んでその場に置き忘れたり、乗り物に置き忘れたりもあったので、最近はいい傘は持たないようにしています。

隈元達雄

○28日「無冠の帝王」 華麗なボクシングスタイル（サウスポー？）矢尾板貞雄が去る9月13日に亡くなられた。その追想録が今日の夕刊にあった。矢尾板の試合のテレビ放送がある日（夜）は、いつも夕食をとっている蕎麦屋に行き放映開始を待った。その時間になると、蕎麦屋は戸を閉め、店の明かりを消して、常連が声を合わせて矢尾板を応援した。矢尾板はボクシングのラウンドの合間に選手がビール瓶に入っている物を飲んでいるのを見て、ビールだと思った。ボクサーになれば、ビールを飲めると思ったのがボクサーになった動機だと語っていた。本当に良いボクサーでした。ご冥福を祈ります 合掌

=====

西山 和宏

=====

○ぼくも観るスポーツの中ではボクシングのテレビ放映は白井義雄以来多分どの時代もはなれることなく観て来まし



た。

八尾板貞雄も好きなボクサーのひとりでしたよ。

相手のパスカル・ペレスとかポーン・キングピッチの名前も覚えています。残念なことにとどの試合がどうか？勝った負けたなどの記憶は薄いけど。何となく闘うシーンは浮かんできます。八尾板選手は細い身体つきのテクニシャンが浮かびます。

改めて誌上で追想を読むと、その人の生き様を観ることが出来ますね。



○私は矢尾板貞雄が解説した試合を知りません

その頃はボクシングのテレビを見て行かなかったようです。

【編集後記】

10月も、あと1日となりました。さて、10月を振り返ってみると、何がありましたっけ？

まず朝昼のニュース番組では「旧統一教会に関わるニュース」以外はすぐ浮かんできません。

政治・外交では相変わらずロシア・プーチン・予備役動員（刑務所まで）ウクライナ攻防……など。

八期の LINE ではみなみプロの活躍情報を中心にまあいわゆる世間話に花（ときどき火花）がさくといったところでした。多分、10月が過ぎて、1週間もたったらみんなの記憶から10月は「なにかあったっけ？」、と言うことになりそうです。

それでいいんじゃないですか？無病息災・家内安全……なんだかあとに「火の用心」が続きそうじゃないですか。

『八期オンライン通信』の編集も今月は楽でした。

今月は満山一朗の記事を掲載しました。厄病、頑張って外野席にホームランを願っています。



付録: LINE の八期歴史会グループ(県内の歴史探訪の旅の仲間で作る LINE グループです)

